







GFRと腎臓の状態

CKDステージ (病期)	G1	G2	G3a	G3b	G4	G5
腎臓の 機能状態						
eGFR	90%以上	60~89%	45~59%	30~44%	15~29%	15%未満
eGFR	≥90	60~89	45~59	30~44	15~29	<15
症状	ほぼ正常	腎機能低下	中等度低下	高度低下	末期腎不全	透析
	自覚症状がほとんどない			むくみ、息切れ、疲れなど		

(CKD診断ガイド2012より一部抜粋)

出典：キッセイ薬品工業株式会社より

腎臓の代表的な働き・尿をつくることです。腎臓に運ばれ、糸球体を通過した老廃物を尿として排出されること、尿となつて排泄されます。糸球体ろ過量が低下すると、尿を排出するのほつた

称である(CKD)と診断されま
CKDはま
まな生活習慣病
と関係しており、心筋梗塞や脳卒中などの心血管病を合併しやすいことが大きな問題となつていて、これを「腎臓の機能低下」肉を動かすためにエネルギーを使った後に出てくる老廃物です。老

るクレアチニン量が減ると、血液中にクレアチニンがたまって、男性はクレアチニンが1.0以下、女性は0.8以下、クレアチニンは筋肉の量に比例

を測定すると、腎臓の機能を反映する糸球体ろ過量が推定できます。クレアチニンの基準値は、男性・0.8、女性・0.7以下、クレアチニンは筋肉の量に比例

して産生されるので、一般的に筋肉量の多い男性のクレアチニン値は女性よりも高くなります。

糸球体ろ過量はその英語表記を略してGFRと呼びたい。GFRを正確に行うには、特殊な薬剤を注射する負荷試験や24時間蓄尿を必要とするので、最近では、血液の

年齢別から計算して求める推定GFR値(「eGFR」)を使っています。

腎機能が正常なGFRは90以上、GFRが60未満ならCKDです。クレアチニン1.2、クレアチニンは、60歳以上の男性の場合、GFRは50で腎機能は低下して、CKDの原因は「です。

⑧ CKDってどう診断するの?.

人生100年時代の健康管理
桐生大学桐生短期大学部副学長 山科 章



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、元日本循環器病予防学会理事長。

前回は、CKDとは腎臓病の略語で、腎臓の働きが少しずつ低下していく腎臓病の総称と慢性腎臓病(CKD)と診断されま

腎臓に約100万個ある糸球体です。腎臓病になると、糸球体ろ過される量が減り、糸球体のふるいの穴が、大きくなるため通常では通らないたんぱく質が尿に漏れます。したがって、腎臓の異常は糸球体ろ過量の減少、ないし、尿たんぱく

保健・福祉

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。